

医師連盟 TOTTORI

鳥取県医師連盟発行
発行人 岡本公男

〒680 - 8585 鳥取市戎町317 鳥取県医師会館内
電話 (0857)27 - 5566

執行委員会は午後3時30分開会予定であったが、その前に開かれていた常任執行委員会が延びたため、約15分遅れての開会となつ



唐澤委員長

要案件なのでよろしくお願
いしたい。小泉総理が退陣
するが支持率は40%もあり
不思議である。新しい総理
に対し日医連としてどのよ

た。
冒頭挨拶した
唐澤委員長は、
「常任執行委員
会が延びてご迷
惑をおかけし
た。本日は参議
院選挙の推薦候
補者を決める重

日本医師連盟は去る8月22日、日本医師会館にお
いて執行委員会を開催し、来年夏に予定されている
第21回参議院議員通常選挙比例区における日医連推
薦の候補者について協議し、採決により現職の武見
敬三議員を推薦すること決定した。

武見敬三氏の推薦を決定 日本医師連盟



武見敬三 参議院議員

続いて議事に
移った。
議題1 平成18年
度交付金は日医連
に納めた負担金の
中から40%を各都
道府県医師連盟に
交付することが承

武見議員は、中央情勢四
点について簡単に挨拶が
あった。
医療制度改革法が成立
したが現在440もの省政令を
策定中であり、この中で問

消費税問題
は政治過程に入っている。
医療機関の損税問題を解消
する必要がある。事業税非
課税は存続する。

うに対処していくかは重要
である。医療をめぐる環境
は財政を含めて非常に厳しい
状況で、将来や健康・生命
を担う我々がどういう道
を辿っていくのかを念頭に
置きながら十分なご議論を
お願いしたい」と述べた。
慣例により武見敬三議
員、西島英利議員（公務外
国出張のため書面挨拶）か
ら挨拶があった。

題点を是正していくことが
課題となっている。附帯決
議21項目はほぼ日医の意見
が入っている。医療改革
を進める過程が変化してい
る。早い決定、政府与党で
の一体化した政策決定と
なっている。概算要求が
出されている。主な項目は
脳性マヒの無過失補償制
度、医師の地域、診療科に
よる偏在・確保対策、鳥イ
ンフルエンザワクチン備蓄

認された。

議題2 参議院議員通常選

挙の比例代表候補者については、日医連が候補者を公募したところ締切りの8月18日までに現職の武見敬三議員と自見庄三郎氏（福岡県・前衆議院議員、医師）の二人の届け出があったことから、対応について協議、意見交換が行われた。まず、唐澤委員長より「執行委員会が最高議決機関であるので、この会で決めることとなる。基本的課題として支持政党、推薦候補者の人数、選出の方法（投票か挙手か）についてお諮りしたい」と提案があり、以降、推薦について活発な意見交換が行われた。

意見として、日医会長選挙に干渉した人は好ましくない、会長選挙と参議院選

挙をリンクするのは説明しにくい、強い医師会として

30万票取らなければならぬ、自民党を推すのどうか、重要政策について本人の意見を聞くべき、などがあつた他、主な意見は以下のとおりである。

（抜粋、要旨）

まとまらないと勝てない。候補者は1人にするべき。

自見氏は地元の福岡県医師会の推薦も得ていない。郵政民営化反対で落選した人が自民党の公認を得られるのか。

支持政党は政権政党である自民党とするべき。

武見氏を支持しないのは、会長選挙のしこりと低次元の話ではなく日医連推薦の国会議員が

会長選挙に大きく介入したことであり許されないことだ。信念でやったとなれば冒流するものである。今後2度とあつてはならない。

近畿としては日医連が武見氏を推薦決定しても従わない。

推薦候補者が決定したら、民主主義の原理・原則に従い、一致団結して支援するべきだ。

武見氏がどう介入したのか。植松執行部をどう評価するかが会長選挙であつた。政府の医療改革試案、改革大綱の前に対案を示さなかつたのは怠慢であり結果責任はある。武見氏には関係なく代議員が判断したことである。

前執行部が何もしな

かつたというのは正しくない。誰が会長であつても同じ結論となる政治情勢であつた。止むを得なかつた。

2人に話しをさせ、質疑を行つてから決めるべきだ。今日は意見を出し合つて、もう一度開いてはどうか。

武見氏以外に誰がいるのか。大勢の意見だ。問題は近畿ではないか。医師でなくても政策、主張は一緒である。

意見が出尽くし時間も経過したことから、決め方について諮り、挙手により採決することが承認された

が、採決の直前に近畿の委員約20名が抗議として退席した。採決の結果、次の3点に

ついて大多数の挙手をもって決定した。

支持政党は自民党とすること。

日医連の推薦候補者は1名とすること。

その1名は現職の武見敬三氏とする。

なお、自見庄三郎氏につ

いて今後自民党公認された時点で再度検討するとして。松田仁氏（日医連参与、元衆議院議員、医師）についても同様とした。



武見敬三氏御礼の挨拶

(要旨)

この度は推薦決定に感謝

申し上げます。全力で来年夏

の参議院選挙を勝ち抜きた

い。大きな変革期にあつて

真に国民医療を守る医療提

供体制の再度しつかり確立

するため努力していく。微

力ではあるが、先生方のご

支援をいただき頑張ってい

きたい。推薦決定の経緯に

は様々な思いがあつたこと

は理解している。その中に

は私の不徳の致すところも

あつたと思う。私はわが国

の医療を守っていくための

仕事を実行して行きたいと

思う。ぜひとも先生方のご

支援、ご指導をお願いした

い。

会議は終了予定の4時30

分を大幅に超過し、午後5

時45分閉会した。

平成17年度決算を承認

常田享詳氏の推薦決定

武見敬三氏

鳥取県医師連盟執行委員会

鳥取県医師連盟は去る7

月29日、鳥取県医師会館に

おいて執行委員会を開催

し、平成17年度決算を承認

するとともに、来年夏に予

定されている第21回参議院

議員通常選挙における推薦

候補者について協議した結

果、鳥取選挙区は常田享詳

氏、比例区は武見敬三氏

(いずれも自民党、現職)を推薦すること決定した。

会議の議事としては医師

会役員改選、規程の一部改

正で地区医師連盟からの執

行委員の選出方法変更によ

り、役員を名簿のとおり決

定した。また、議長に板倉

和資先生を選出した。

報告として日医連関連の

諸会議の報告がなされた。

平成17年度決算は収入済

<鳥取選挙区推薦候補者>



参議院議員

常田享詳 先生

略 歴

- ・昭和18年11月5日生まれ
- ・昭和41年3月 東京薬科大学卒業
- ・昭和50年 常田薬局、代表取締役
- ・昭和53年12月 鳥取市議会議員に初当選 (昭和55年5月まで)
- ・昭和58年4月 鳥取県議会に転じ、3期連続当選
- ・平成7年7月 参議院議員選挙にて初当選、現在2期目

<比例区推薦候補者>



参議院議員

武見敬三 先生

略 歴

- ・昭和26年11月5日生まれ
- ・昭和19年3月 慶応義塾大学法学部政治学科卒業
- ・平成7年4月 東海大学教授(現在休職中)
- ・平成7年7月 参議院議員選挙比例区にて初当選、現在2期目

額25,039,303円、支出済額12,839,650円、収支残額12,199,653円の決算を承認した。詳細は別記のとおり。

議事が終了した後、常田享詳氏による講演「光と影」を行った。

講演の要旨は次のとおり。

参議院議員選挙対策として鳥取選挙区は現職の常田

常田享詳議員講演 『光と影』 (要旨)

日ごろから大変お世話になっておりありがとうございます。また、推薦のご決定をいただき感謝申し上げます。この5年間でなぜこうなつたのか。光が強いと影も濃くなります。何か大事なものが壊されたのではないかと確認してお

いよいよ総裁選挙がはじまり、9月20日には新しい総裁が決定します。武見先生や私が所属しています平



常田享詳 参議院議員

貧困層が13%もあり、医療保険にも加入していない。中流社会と言われていて日本が目指す方向と違うのではないか。貧富の差で貧困率を比べるとアメリカはメキシコに次いで世界第2位で貧困率が高い。日本は5番目であるがだんだん格差が広がっている。市場原理主義を追求すると「惻隠の情」、思いやりの情が崩壊し、拝金主義が生まれる。

小泉総理が厚生大臣だった頃、時の橋本総理は厚生省をなくしようとしており、委員会では私が質問しようとしたら小泉厚生大臣から資料をいただき、厚生省の文字は大切であることを取

り上げてくれと言われた。生を厚くすることはまさしく惻隠の情である、と言っていた小泉総理が逆の方向に進んでいる。

しかし、小泉総理だけではなく何人かが重要な役割をしており、我々は排除していかなければならない。正に日本を市場原理主義に近づける、あるいはアメリカに売ろうとする人。

また、経済人としてやるならいいが、公職にある人が民間開放を進め、その結果特定の企業が儲けている。彼らには惻隠の情は全くない。次に狙っているのは医療、介護分野であるが、阻止しなければならぬ。高齢者向けの住宅を関連会社で建築している。皆保険制度を崩し、混合診療の導入の手始めである。社

生まれた。都市と地方、お金持ちと貧困などいろんな格差である。その根幹はどこにあるのか。

藤原正彦氏の著書「この国のけじめ」の中では、市場原理主義が今の日本をダメにしてしまったのではないかと。代表的にはアメリカであるが、バラ色の国家にはなっていない。上位1%の人が国の富の約半数を持つっており極端な貧富の差があり、目指している方向が違うのではないかと。家族5人で年収260万未満の

成研究会ではどうという総理を選ぶかを話し合っています。この5年間でなぜこうなつたのか。光が強いと影も濃くなります。何か大事なものが壊されたのではないかと確認してお

くべきで、この間、景気はよくなつたが大きな格差が

平成17年度鳥取県医師連盟収支決算書

【収入の部】

(単位：千円)

款	項	予算額	収入済額	差引残額	摘 要
1. 会 費		12,330,000	12,267,500	- 62,500	東部4,460,000円 中部2,227,500円 西部5,580,000円
	1. 会 費	12,320,000	12,267,500	- 52,500	
	2. 特別会費	10,000	0	- 10,000	
2. 寄付金		3,240,000	3,240,000	0	交付金 3,240,000円
	1. 日医連寄付金	3,240,000	3,240,000	0	
3. その他の収入		1,000	198	- 802	普通預金利息
	1. 雑 入	1,000	198	- 802	
4. 繰越金		9,000,000	9,531,605	531,605	前年度繰越金
	1. 繰越金	9,000,000	9,531,605	531,605	
収 入 合 計		24,571,000	25,039,303	468,303	

【支出の部】

款	項	予算額	支出済額	差引残額	
1. 事務費		200,000	83,836	- 116,164	電話代、印刷費、送料他
	1. 一般事務費	200,000	83,836	- 116,164	
2. 組織活動費		3,790,000	1,872,814	- 1,917,186	医師連盟TOTTORI (1回発行)
	1. 旅 費	2,000,000	921,930	- 1,078,070	
	2. 会議費	500,000	530,110	30,110	
	3. 懇談会費	1,000,000	292,810	- 707,190	
	4. 負担金	50,000	0	- 50,000	
	5. 広報費	240,000	127,964	- 112,036	
3. 選挙関係費		1,000,000	500,000	- 500,000	1名
	1. 寄付金	1,000,000	500,000	- 500,000	
4. 寄付交付金		10,408,000	10,383,000	- 25,000	負担金 @20,000円×405人=8,100,000円 東部 540,000円 中部 285,000円 西部 675,000円 @2,700円×290人
	1. 日医連負担金	8,100,000	8,100,000	0	
	2. 地区連絡費	1,500,000	1,500,000	0	
	3. 支部交付金	808,000	783,000	- 25,000	
5. その他の経費		9,173,000	0	- 9,173,000	
	1. 予備費	9,173,000	0	- 9,173,000	
支 出 合 計		24,571,000	12,839,650	- 11,731,350	

収支差引残額 12,199,653円は平成18年度へ繰越